

令和6年度に係る自己点検・評価の報告書

令和7年6月25日

部局名：環境生命自然科学研究科

1. はじめに

環境生命自然科学研究科では、令和6年度に係る教育課程・学生支援・学生受入、研究、総務を対象とする自己点検・評価を実施し、以下のようにその結果を報告する。

2. 実施体制・手順

教育課程・学生支援・学生受入については、自己点検・評価シートの各項目をもとに、副研究科長と事務部と連携して作業を進めた。

研究については、研究倫理教育の実施記録を事務部で収集した。

総務については、教員選考に関する内規等、基幹教員等調書を事務部で収集した。

これらの資料に基づき、自己点検・評価委員会及び代議員会議において、自己点検・評価を実施した。

3. 総括

令和6年度に係る教育課程・学生支援、研究、総務の項目について、適切であると判断した。学生受入の項目は、項目番号6-2-2 について「注意が必要」と判断した。

4. 前年度の点検・評価の結果、確認された改善を要する事項（前年度の点検・評価実施時点で対応済のものを除く。）の対応状況

該当なし。

5. 点検・評価の結果、確認された改善を要する事項のうち主要なもの

該当なし。

6. 点検・評価の結果、確認された全学での検討が必要な課題のうち主要なもの

該当なし。

7. 点検・評価の結果、「注意が必要」とした事項に対し、維持・向上させるための活動計画のうち主要なもの

（6-2-2 公正な入学者選抜の実施）

- ・環境生命自然科学研究科（博士前期課程）において出題ミスがあったため、入試ミスの注意喚起を行うとともに、点検方法等の見直し・改善を行う。

8. 点検・評価の結果、優れた成果が確認できる取組のうち主要なもの

該当なし。